

おにぐるみの学校では、木の岡地区に残された貴重なビオトープを子供たちに残していくために、このビオトープを守る活動を行っています。

このニュースレターは、「木の岡ビオトープ」や、「おにぐるみの学校の活動」をより多くの人に知っていただくために、定期的に発行するものです。

木の岡ビオトープ



春の自然観察会(H23年3月13日)

●クラフトづくり

シンジュの木は、中がコルクのように柔らかいので、棒ヤスリで枝の中に穴を開けて、ペンを作りました。



●ドングリ苗木の植樹

H22.12に続き、H18から育ててきたドングリの苗木を観察広場までの入り口の通路に沿って植樹しました。



●野草の天ぷらの試食

ヨモギ、アザミ、セリ、ミツバ、ヤブツバキ、フキノトウの6種類を天ぷらにして食べました。



夏の自然観察会(H23年6月9日)

◆下阪本小学校の2年生を迎え、自然観察会を実施しました。

●土の中の生き物観察

ビオトープ内の土を掘り起こし、中にいた生き物を捕まえて、観察しました。



●ネイチャーゲーム

生き物が周囲の環境にとけ込み、容易に見つからない理由をゲーム(カモフラージュ)を通して学びました。



●フィールドビンゴ

ビオトープ内を散策しながら、その中で見られそうなものを選び、ビンゴゲームをしました。



お礼の手紙をもらいました！！

◆下阪本小学校の2年生から、自然観察会へのお礼の手紙をもらいました。

去る H23.6.9 に下阪本小学校の2年生を迎えて開催した自然観察会に対して、先生方や生徒たちからお礼の手紙をもらいました。

「また、来たい」や「楽しかった」、「ありがとう」といった感想をたくさんもらいました。



夏の自然観察会(H23年9月11日)

●昆虫類の観察

昆虫が生息していることによりキノコの分布が広がること、標本にすることで生息記録として残すことも大切であることを学びました。



●ネイチャーゲーム

ビオトープ内に生えているシュロの分布図を作成し、近年ここにも増加していることを調べました。



●野草の天ぷらの試食

ヨモギ、ミョウガ、ツククサ、クズの芽、クズの花、セイタカアワダチソウ、アキノノゲシ、ミツバの8種類を天ぷらにして食べました。



おにぐるみの学校について

◆一緒に木の岡ビオトープを守りませんか？◆

おにぐるみの学校では、木の岡ビオトープにおいて、自然観察会の開催や清掃などの活動を行っています。

木の岡ビオトープの保全・利用に向けたこれらの活動に理解・賛同し、活動に参加もしくは支援して下さる個人や団体を対象に会員募集を行っています。

会員の方は、ニュースレター“おにぐるみ通信”の配信や各種活動の案内のご送付があるほか、イベント等へ優先的にご参加いただけます。

みなさんで木の岡ビオトープの現状を理解し、地域に親しまれ、愛される場所としていくための活動に取り組んでみませんか？みなさんのご参加をお待ちしております。

発行者

◆ おにぐるみの学校事務局

(滋賀県土木交通部 流域政策局 河川・港湾室 河川環境チーム)

TEL:077-528-4154 FAX:077-528-4904 E-mail: ha04@pref.shiga.lg.jp

URL: <http://www.pref.shiga.jp/h/kako/>

